

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

Trends in foreign patients undergoing plastic surgery over the past 15 years
形成外科手術を受けた外国人患者の 15 年間の動向と問題

[研究責任者] 長崎医療センター 形成外科・部長 藤岡 正樹

[研究の背景]

労働力不足を補うために 1993 年に創設された外国人技能実習制度は、3 度の改定を経て、日本における外国人労働者数（2024 年 10 月）は 230 万人と過去最高を更新し、更に増え続けています。長崎県でも在留外国人は県人口の 1%を超え、形成外科を受診する外国人患者が増えています。

[研究の目的]

本報告では過去 15 年の当院形成外科で手術を受けた外国人患者の動向を調査したものを報告するとともに、外国人患者特有の問題点を明らかにします。

[研究の方法]

- 2010 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に長崎医療センター形成外科で手術を受けた方
- 研究期間：倫理審査委員会承認日～2026 年 3 月 31 日
- 利用するカルテ情報
 - ①初診時の臨床所見
(国籍、受傷機転、雇用形態、病名)
 - ②治療反応性・予後
(初診日から 1 ヶ月後の転帰、3 ヶ月後の転帰、予後)
- 検体や情報の管理
情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。
この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除

し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

形成外科・部長 藤岡 正樹

電話番号：0957-52-3121（代表）